

関屋中学校・浜浦小学校・関屋小学校・有明台小学校・青山小学校 5校合同 コミュニティ・スクール通信

令和5年9月発行

8月3日(木) 関屋中学校区合同コミュニティ・スクール(学校運営協議会)が開催されました。各校より第1回CSの協議内容、今後の計画、地域との連携事業について報告され、その後、活発な意見・情報交換が行われました。

関屋中学校 報告

今年度第1回CSでは学校運営基本方針や教育ビジョンの評価について委員の皆様にご承認いただきました。またコロナ対応や部活動地域移行にむけた動きについてお伝えし、ご意見をいただきました。

今後の計画です。第3回CSでは「いじめ見逃しゼロスクール全校集会」の参観、いじめ不登校防止連絡協議会を行い、民生児童委員との連携を図っていきます。部活動地域移行に関しては、学校と部活動コーディネーターによる情報収集などの活動が月1回行われており、移行にむけた調整を今後も進めていきます。

地域との連携として10月に主に陸上部の生徒が新潟シティマラソンの給水ボランティアに参加予定です。2月にはPTA主催のオンライン防災教室が全校一斉、保護者も参加可能な形で行われる予定です。

浜浦小学校 報告

第1回CSでは教育ビジョンの承認と、地域との連携事業(協働の森づくり・海岸清掃・防災教室)の継続を確認しました。

CSの今後の計画としては、第3回に浜っ子フェスティバル(児童会祭り)の参観、第4回に地域に關係した授業の参観と、次年度の学校運営について協議を行う予定です。

地域との連携事業では、4年生が総合学習で砂防林について学び、9/15に植樹・成長した松の除伐作業を中央区建設課・地域住民・保護者と協働で行います。9/20に学校行事「なかよし遠足」の途中で全校児童が地域住民・保護者と一緒に海岸清掃を行い、10/21に6年生を対象に体験型防災授業を地域住民・保護者参観で行います。こうした地域との連携事業で地域の大人や保護者が子どもたちとふれあい、お互いに元気をもらっています。

関屋小学校 報告

関屋小学校の第1回CS会議で話し合われたことは、今年度の教育ビジョンにある3つの重点目標、大切に3つの連携(地域、中学校、幼稚園・保育園)、学校評価(ルーブリック評価を取り入れて、児童と教師とで双方向の確認をすること)、予算、地域と学校パートナーシップ事業、です。いずれも協議の結果承認されました。

今後の計画は、11月3日にひびきの集い(全校劇)の参観、11月14日に第3回会議(前期の振り返り、児童との地域を語る会)、3月1日に第4回会議(学校評価と次年度に向けて)です。

地域との連携では、今年度は海岸清掃を再開することになり、コミ協や育成協との連携を進めているところです。

有明台小学校 報告

第1回CSでは、学校運営の基本方針として「自ら考え挑戦する力」の育成を中核とし、学校・保護者・地域が連携していくことが確認されました。また、地域課題の共有やスタッフの人材不足が課題である「たつまキッズ（ふれあいスクール）」の参観も行いました。

今後の計画として、第3回CSでは、主に児童会行事「有明台祭り」の参観を、第4回CSでは、主に年間評価を基にした次年度の学校運営について協議を行う予定です。

最後に、地域との連携事業ですが、6/17(土)に「地域と学校の合同防災訓練」を行いました。今後は、総合学習の活動として、9月に関屋分水右岸の花文字作り、関屋六階節の伝承活動、高齢者福祉の仕組み作り等の活動で連携を進めて参ります。

青山小学校 報告

青山小の協議会では初の独自活動として、本年度、児童と共に地域の危険箇所を確認する取組を始めました。第1回協議会では担当部会を設置。部会で安全点検をする際のポイントを分かりやすく解説した動画を制作しました。動画は専門知識のある部会メンバーが出演、制作し、全校児童がタブレット端末で見られるようにしました。防犯と交通安全の観点から、夏休み中に地域と学校、家庭が一体となって点検を実施。9月に地区合同防災訓練時の町内子供会を通して部会で情報を集約し、地域安全マップの更新も視野に危険箇所の洗い出しを進めます。青山小は教育ビジョンで「自己調整力」を育むという目標を掲げています。このCS活動は、児童が「ここは危ないな」と自分で判断できる力を養う契機になり、教育ビジョン達成の一助になるものと考えています。

～意見交流～

Q：CSではどんなことを話し合ったら良いのか？学校としてはどのような意見を求めているのか？

A：地域でどんな子どもに育てて欲しいか、地域目線の具体的な意見をもらいたい。

- ・この地域の未来像。実現のために学校が持っているデータなどを出して一緒に考えていきたい。
- ・学校の困っていること、地域で困っていることをお互いに出し合い、一緒に考えていきたい。
- ・子どもの姿は学校と地域・家庭で違う。学校で見えない部分を教えて欲しい。
- ・地域にある物や人材などを教えてもらい、活用していきたい。

～閉会の言葉から～

非常に貴重な情報共有の場になった。子どもが主体となった各校の取り組みを聞くことができた。地域の課題（高齢化問題・少子化問題・中学校の部活動移行の問題・個人情報）も出された。それについては情報を共有しながら良い方向を見つけていくことが大事だと感じた。

CSはコミュニケーションを積み重ねて徐々に育てていくもの。地域と学校がお互いに活性化することが大事。長い視野でCSの成長を目指していきたい。



発行 令和5年度幹事校 浜浦小学校 CS事務局

☎025-266-3181